

Hospital Frailty Risk Score と待機的侵襲的循環器治療の臨床転帰に関する全国レジストリ研究

へのご協力をお願い

国立病院機構東広島医療センターでは、日本循環器学会（以下本学会）が実施する全国的に循環器診療の実態調査を展開して診療実態を具体的な数で把握するためのデータベースを利用して「Hospital Frailty Risk Score と待機的侵襲的循環器治療の臨床転帰に関する全国レジストリ研究」を行っています。

[対象となる方]

本学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設に、2020年4月1日から2025年3月31日の期間に、①経皮的冠動脈形成術、②心房細動アブレーション、③経カテーテル大動脈弁置換術、あるいは④ステントグラフト内挿術、を待機的に受ける目的に入院された患者さんです。

[研究期間] 実施許可日～2028年3月31日

[研究課題名]

Hospital Frailty Risk Score と待機的侵襲的循環器治療の臨床転帰に関する全国レジストリ研究

[研究責任者]

国立病院機構東広島医療センター・所属：循環器内科 西樂 顕典

[研究の目的]

本研究は、全国の医療データベースを用いて、高齢患者のフレイル（虚弱）状態と待機的な循環器カテーテル治療などの侵襲的治療後の合併症や医療資源使用との関係を明らかにし、より適切な治療選択の指標を作ることを目的とします。

[利用する診療情報]

参加施設から日本循環器学会循環器疾患診療実態調査へ提供された以下の情報

年齢、性別、入院年月日、退院年月日、入院経路、病名、併存症名、合併症名、入院前 NYHA スコア、画像診断・検査の有無、リハビリテーションの有無、退院先、退院時 DPC コード、院内死亡の有無、在院日数、退院時転帰、入院中および外来時の処置・手術内容、実施日、使用された薬剤・医療材料、入院および施術に要した費用、など

[個人情報の取り扱い]

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

[問合せ先]

研究責任者 国立病院機構東広島医療センター 循環器内科 西樂 顕典

TEL：082-423-2176